

# 臨床検査医学講座 (検査部・輸血部を含む)

## 著 書

- 1 青木洋介：インフルエンザ。西日本新聞。平成17年2月6日 p11.
- 2 青木洋介：感染症。渡辺照男 編：カラーで学べる病理学（第2版）。81-90，ニューヴェルヒロカワ。東京 2005.
- 3 青木洋介：敗血症。実地診療にすぐ役立つ実践抗生物質・抗菌薬療法ガイド。276-280，文光堂。東京 2005.
- 4 青木洋介：インフルエンザ感染症迅速診断の盲点—疾患頻度と検査結果の解釈。工藤翔二 編：呼吸器診療のコツと落とし穴。22-23，中山書店。東京 2006.

## 学術論文

- 1 青木洋介：レジオネラ感染症の臨床疫学的診断方の開発に関する研究—特に集団感染事例を対象とした解析—。厚生労働科学研究費補助金・健康科学総合研究事業—生活環境におけるレジオネラ感染予防に関する研究—。平成16年度総括・分担研究報告書（分担）：平成17年3月。p63-p67.
- 2 青木洋介，福岡麻美：抗菌薬の対象となる“かぜ症候群”とは。感染と抗菌薬 8：341-344，2005.
- 3 青木洋介：高齢者の栄養補給：低蛋白血症とその改善法。臨床医 31：1829-1831，2005.
- 4 青木洋介：肝酵素 AST と ALT について。医界佐賀 975：42-43，2005.
- 5 青木洋介：“体がきつい”（慢性疲労）と訴える患者さんの評価。医界佐賀 976：44-45，2005.
- 6 青木洋介：HIV 感染症を疑う状況およびスクリーニング検査。医界佐賀 977：29-30，2005.
- 7 青木洋介：過剰検査の原因。医界佐賀 978：51-52，2005.
- 8 青木洋介：糖尿病を疑う場合の血糖検査の解釈について。医界佐賀 979：36-37，2005.
- 9 青木洋介：HbA1c について。医界佐賀 980：33-34，2005.
- 10 青木洋介：アミラーゼについて。医界佐賀 981：45-46，2005.
- 11 青木洋介：血液培養について。医界佐賀 982：27-28，2005.
- 12 青木洋介：入院患者における便培養の意義について。医界佐賀 983：44-45，2005.
- 13 青木洋介：劇症型肺炎球菌感染症・肺炎球菌ワクチン—再考。医界佐賀 984：33，2005.
- 14 青木洋介：かぜ症候群と抗菌薬。医界佐賀 985：46-47，2005.
- 15 青木洋介：血液尿素窒素について。医界佐賀 986：58-59，2005.
- 16 \*Amano A, Ohkusu K, Kusaba K, Ikeda H, Nagasawa Z, Aoki Y, Kawamura Y, Kobatake S, Tanaka T, Matsuura S, and Ezaki T: Quantitative microarray-based DNA-DNA hybridization assay for measuring genetic distances among bacterial species and its application to the identification of family Enterobacteriaceae. Microbiol. Immunol. 49: 255-263, 2005.
- 17 °尾形美穂，中房淳司，永瀬浩太郎，三浦由宏，三砂範幸，安藤高志，福岡麻美：維持透析中の腎不全患者に生じた成人のブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群および敗血症の1例。西日本皮膚科 67：594-598，2005.
- 18 °清祐麻紀子，佐藤和夫，関 真人，高柳 恵，永沢善三，小口 晃，永山在明：新生児集中治療室における MRSA のパルスフィールドゲル電気泳動解析と感染対策。日本臨床微生物学雑誌 15：

25-31, 2005.

- 19 高柳 恵, 永沢善三, 草場耕二, 福富由美子: チオウレア処理の有用性が確認されたパルスフィールド電気泳動 (PFGE) 法. 医学検査 54 1207-1211, 2005.
- 20 °田中将英, 小宮一利, 福野裕次, 福岡麻美, 末岡尚子, 林真一郎: 気管支肺胞洗浄液 RANTES 高値を示した慢性骨髄単球性白血病合併肺病変の 1 例. 日本胸部臨床 64: 754-760, 2005.
- 21 中村光男, 坂口美和, 次富久之, 中原慎二, 渡辺恵子, 佐藤敏美, 徳田雄治, 杉田保雄, 徳永 藏: 巨大な嫌色素性腎細胞癌の 1 例. 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 36: 65-68, 2005.
- 22 福岡麻美: 開心術後の重症感染症に対しピアペネムが有効であった 2 症例. Current Concepts in Infectious Diseases 24: 10-11, 2005.
- 23 山口恵三, 大野 章, 櫻谷総子, 永沢善三, 青木洋介, 他: 2002年に全国52施設から分離された臨床分離株11,475株の各種抗菌薬に対する感受性サーベイランス. Jpn. J. Antibiotics 58: 17-44, 2005.
- 24 山田尚友: 抗生物質が誘因と思われる自己抗 E 抗体による免疫性溶血性貧血の一例. 輸血 第299号, 2005.
- 25 Zhang H, Morisaki T, Nakahara C, Matsunaga H, Sato N, Nagumo F, Tadano J, Katano M: Squamous cell carcinoma-related antigen in children with acute asthma. Annals of Allergy, Asthma & Immunology 94: 391-397, 2005.

#### 学会発表

- 1 青木洋介, 福岡麻美, 長澤浩平, 永沢善三, 草場耕二, 高柳 恵, 田辺一郎: 感染症医から見た院内呼吸器感染症の問題点と今後の対応. 第79回日本感染症学会総会. 2005, 4, 15. 感染症学雑誌 79: 236.
- 2 青木洋介, 福岡麻美, 永沢善三: 微生物検査室との連携による Bacteremic Sepsis の横断的診療 (第31回 ICD 講習会・日本化学療法学会西日本支部活性化推進委員会推薦シンポジウム). 第53回日本化学療法学会西日本支部総会 2005, 12, 1. 日化療会誌 (45): 53S-B 45.
- 3 青木洋介, 福岡麻美, 出原賢治: 疾患の検査前確立および検査後確立を認識させる医学部学生への臨床疫学的検査診断教育の試み. 第52回日本臨床検査医学会総会・第45回日本臨床化学学会年会連合大会. 2005, 11, 19. 臨床病理 53: 297 (口頭発表).
- 4 出原賢治: マイクロアレイ法による新規診断マーカーの検索 I 一扁平上皮細胞癌抗原の診断マーカーとしての意義一. 第52回日本臨床検査医学会総会・第45回日本臨床化学学会年会連合大会. 2005, 11, 17. 臨床病理 53: 23 (シンポジウム).
- 5 °岡本允信, 久富 崇, 出 勝, 桑原伸夫, 富栴りか, 福島伯泰, 船井典子, 永瀬浩太郎, 三砂範幸, 佐野雅之, 末岡栄三朗: 先行する毛包性ムチン沈着症と好酸球増多症に合併した Angioimmunoblastic T-cell Lymphoma. 第67回の本血液学会・第47回日本臨床血液学会. 2005, 9, 18. 臨床血液 46: 861
- 6 桑原伸夫, 出 勝, 久富 崇, 富栴りか, 福島伯泰, 船井典子, 采田志麻, 畑 裕之, 佐野雅之, 末岡栄三朗: サリドマイド誘導体(FPP-33)による KHM4a の増殖抑制効果の検討. 第67回の本血液学会・第47回日本臨床血液学会. 2005, 9, 17. 臨床血液 46: 264.
- 7 田中真一, 川崎誠司, 南雲文夫, 出原賢治: PATHFAST による BNP 測定の検討. 第37回日本臨床検査自動化学会. 2005, 9, 30. 日本臨床検査自動化学会誌 30: 517 (一般演題).

- 8 °田中麻里子, 久富 崇, 出 勝, 桑原伸夫, 冨栲りか, 福島伯泰, 船井典子, 佐野雅之, 末岡栄三朗: シェーンゲレン症候群に合併した MALT リンパ腫の経過中に再生不良性貧血を合併した 1 症例. 第67回の本血液学会・第47回日本臨床血液学会. 2005, 9, 17. 臨床血液 46:876.
- 9 °冨栲りか, 末岡尚子, 佐藤明美, 久富 崇, 福島伯泰, 船井典子, 桑原伸夫, 出 勝, 末岡栄三朗: 成人 T 細胞白血病・リンパ腫における hnRNP A2/B1 の発現亢進と病態との関連. 第64回日本癌学会学術総会. 2005. 9. 14. 日本癌学会学術総会記事:50.
- 10 永沢善三: これからどうする感染症検査室ー院内に必要な感染症検査室ー. 第54回日本医学検査学会. 2005, 5, 13. 医学検査雑誌 (54):316 (シンポジウム).
- 11 永沢善三, 高柳 恵, 中島厚土, 瀧 健治: 炭酸脱水酵素抑制剤の細菌に及ぼす影響について. 第 1 回日本炭酸脱水素研究会. 2005, 9, 17. :316. 日本炭酸脱水素研究会学術集会抄録集: 9 (一般演題).
- 12 永沢善三, 青木洋介, 出原賢治: 院内感染制御に役立つ検査情報システムー院内感染予防のトータルシステムー. 日本臨床検査自動化学会第37回大会. 2005, 9, 30. 本臨床検査自動化学会会誌 (30):309 (シンポジウム).
- 13 °久富 崇, 出 勝, 桑原伸夫, 冨栲りか, 福島伯泰, 船井典子, 佐野雅之, 末岡栄三朗: IgM 型寒冷凝集素症と単クローン性 IgG 増多を合併した nodal marginal zone B-cell lymphoma の 1 例. 第67回の本血液学会・第47回日本臨床血液学会. 2005, 9, 18. 臨床血液 46:933.
- 14 福岡麻美, 青木洋介, 出原賢治: 佐賀大学医学部附属病院における菌血症症例の検討. 第52回日本臨床検査医学会総会・第45回日本臨床化学会年会連合大会. 2005, 11, 19. 臨床病理 53:233. 臨床化学 34:232, 2005. (口頭発表).
- 15 福岡麻美, 青木洋介, 長澤浩平, 永沢善三, 草場耕二, 高柳 恵, 田辺一郎: 感染症医の早期介入による Bacteremic sepsis の予後の改善. 第79回日本感染症学会. 2005, 4, 15. 感染症学雑誌 79:740-741, 2005.
- 16 \*正木孝幸, 永沢善三, 江崎孝行: 誤嚥性肺炎を侵入門戸として化膿性関節炎ならびに敗血症を惹起した PISP の臨床細菌学的検討. 第16回日本臨床微生物学会. 2005, 2, 5. 日本臨床微生物学雑誌 (14):144(一般演題).
- 17 °山下祐佳里, 出 勝, 久富 崇, 桑原伸夫, 冨栲りか, 福島伯泰, 船井典子, 佐野雅之, 末岡栄三朗: 急性好塩基球性白血病と考えられた 1 例. 第67回の本血液学会・第47回日本臨床血液学会. 2005, 9, 19. 臨床血液 46:951.

#### 研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
助教授	青木 洋介	平成17年度厚生労働省科学研究補助金	健康科学総合研究事業	生活環境におけるレジオネラ感染予防に関する研究(分担)	1,000
助教授	青木 洋介	平成17年度文部科学省科学研究費	萌芽研究	エマージング感染症のための教育用プログラムの開発(分担)	200